

## 令和4年度入試問題ミスに伴う追加合格について

令和4年度入学試験において、入試問題にミスがあることが判明しました。ミスは、外部者からの情報提供により判明したものです。確認したところ、選択肢を問う問題において、選択肢の中に正答がありませんでした。そのために、当該問題については全員正解と取り扱うこととし、得点を修正しました。そのことを踏まえて改めて合否判定を行ったところ、本来合格とすべき受験者が複数名いることが判明しました。

本来合格とすべきであったご本人及び保護者の方に対しましては、すでに経緯を説明し、お詫び申し上げ、ご了承をいただいております。

厳正・確実であるべき入学試験において、このような事態を引き起こし、受験生をはじめ関係者の方々に多大なご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今回の事案を厳粛に受け止め、今後このようなことが生じないよう、チェック体制を強化し再発防止に努めてまいります。

なお、本件に関する詳細や追加合格者に関する情報は、関係者のプライバシーを侵害したり、二次被害を与えたりするおそれがあることなどから、公表を差し控えます。

令和4年4月18日

国立大学法人東京学芸大学  
附属高等学校長

大野 弘